

# 濡れた赫い糸

2005(平成17)年12月10日鑑賞(ホクテンザ1)



監督＝望月六郎／出演＝北村一輝／高岡早紀／吉井怜／奥田瑛二（ジャパンホームビデオ配給／2005年日本映画／103分）

……例によってホクテンザのみで上映される『完全なる飼育』系のB級映画（？）だが、出演は高岡早紀や奥田瑛二などA級……？ 山之内幸夫弁護士の原作だと知り親しみをもったが、所詮「実録女師」など私には異質の縁のない世界……。ハンサムでやさしそうな、主演の北村一輝は、『完全なる飼育～女理髪師の恋～』（03年）に続く熱演だが、強い女2人に囲まれて少しかわいそう……？

## 『完全なる飼育』系のB級映画……？

何を隠そう、私はいつもホクテンザで上映される、竹中直人をメインとする『完全なる飼育』のファン。それは、そのタイトルとテーマに含まれる何となくエロティックな香りが昔の日活ロマンポルノを彷彿とさせるため……。今回ホクテンザのみで上映されたこの『濡れた赫い糸』も、これと全く同じような雰囲気 of B級映画。なぜなら、まず興味をひくのがそのタイトルでありそのポスター。しかし出演する女優が高岡早紀であり、さらになぜか奥田瑛二であることをみると、これはB級映画ではなく、A級映画と評価してもいいのかな……？

## 原作は？ 忍山とは？

原作は、私とほぼ同世代の大阪の弁護士であり「作家」の山之内幸夫弁護士が書いた『実録女師』。パンフレットを販売していないため、ネットで調べたところによると、これは、「関西方面に現在もある、売春を町の生業とする地域で生

きる人々のバイタリティに満ちたエピソード」を描いたものとのこと。映画に登場するそれは「忍山」という架空のまちだが、今でもホントにこれと同じようなまちはあちこちに……。もっとも、近代的な風俗営業(?)が進歩した今では、こんな淫靡な(?)売春宿に行かなくても、その方面の欲求を満たす施設はあちこちにいくらでも……?

## 主演はハンサムないい男だが……?

この映画の主演は売春宿の元締め中沢を演ずる奥田瑛二ではなく、茂役を演ずる若手の北村一輝。これは、『完全なる飼育』でいつも竹中直人が一歩引いた役柄で登場し、主演男優を若手に譲っているのと同じやり方。

この北村一輝は背が高くハンサムないい男だから、なぜ『完全なる飼育』やこの『濡れた赫い糸』のようなB級映画の主役として登場するのか私にはよくわからない。ちなみにインターネットで調べてみると、彼は、『戦国自衛隊1549』(05年)、『あずみ』(02年)、『あずみ2 Death or Love』(05年)に出演し、『キル・ビル Vol.1』(03年)、『血と骨』(04年)などもチョイ役(?)で出演しているとのこと。しかしこんなヘンな性格の役で主演していると、そういうイメージが世間で定着してしまうのでは……?

## メインの女優は……?

『完全なる飼育』シリーズでもメインは女優。『完全なる飼育～女理髪師の恋～』(03年)では、それは荻野目慶子だった。そのメイン女優が『濡れた赫い糸』では一美役で登場する高岡早紀。

保坂尚輝との離婚が無事成立した後、『フィーメール』(05年)でかなり過激なヌード姿を披露していた彼女だけに、私はこの映画でもその過激度を大いに期待したのだが、残念ながらその方面での期待は見込み違い……? この映画で高岡早紀が発揮する個性は、妖艶な雰囲気と何をするのかわからないという奔放な性格……?

売春宿で働いていた美しい一美に惚れてしまったものの、実は一美には夫がおり、それが今は服役中の組長だと知ったら、さてあなたなら……?

## もう1人の女優は？

ふつうはメイン女優は1人だけだが、この映画には高岡早紀と並ぶもう1人のメイン女優として吉井怜が登場する。しかし彼女が演ずる恵利はかなりケツタイな女……というより狂気じみた女。こんな女にまわりつかれたら男は大変なことになること明らかだが、根がやさしい茂は……？

一度は中沢を見習って、茂もヒモとなる生活に入り込み、恵利も売春宿で仕事することに納得していたものの、そこに新たな女が入り込み問題がこじれてくると……？

ここらあたりはひょっとして、山之内幸夫弁護士が現実に関わりあった事件にもとづいている話かも……？

## ラストはあまり納得できない展開に……？

前半は一美に惚れた茂がいかに一美に迫っていくかという物語が中心だが、そこに刑務所から出所してきたダンナが登場すると、話は一転して当たり前の結末に……。

そして1年後。今度は華麗にホストに転身した茂の登場だが、これが意外と見かけ倒しで、どうもヘマばかりしている様子……。そんなところに恵利が登場し、話は次第にややこしくなっていくが、まだまだ十分理解可能な範囲。ところがラスト近くになって再び一美が登場すると、女の嫉妬は恐い……？

次第にワケのわからない、私にはあまり納得できない展開に……。せっかく面白い設定でここまでできていたのに、これではどうも……？

2005(平成17)年12月12日記